

平成27年度 仙台大学大学院 授業概要

授業科目名	スポーツ科学概論 Sport Science (L.)	担当教員	丸山富雄/鈴木省三/阿部悟郎		
領域水準コード	R1	単位数	2	履修方法	必修
授業の方法					
講義					
授業の概要					
スポーツ科学に関連して人文・社会・自然の分野から講義する。(1)スポーツ科学の総体と役割、そしてそこにおける人文科学 領域について概説するとともに、スポーツ科学の中心的な対象であるスポーツ事象についての基本的認識を高める。(2)現代社会のスポーツ界の様々な状況や課題について、近代スポーツ、現代スポーツの対比から講述する。(3)フィットネスやトレーニングに関する最新の科学的成果について解説する。					
授業の一般目標					
スポーツ・健康関連分野で生起している諸問題について、人文、社会、自然の各学術分野の観点から深く理解することができる。とくに各学術分野で問題になっているテーマや動向等について客観的に理解したうえで、さらに自分の意見を付帯させながら説明することができる。					
授業の到達目標					
■ 認知的領域	スポーツ科学の個別具体的な各論について科学的に理解し、関連して自分の意見を深めることができる。				
■ 情意的領域	スポーツ科学の各論に関して強い関心を持ち、関連する事項について積極的に調べようと努力する。				
■ 技能表現的領域	学んだことや調べたことをわかりやすくまとめることができる。				
授業計画(全体)					
授業を大きく3分割し、それぞれ「人文科学」「社会科学」「自然科学」的な研究とする。最初の5回では、スポーツ科学についての科学原論を素材に、その人文科学的方向の役割と課題を探究する。次の5回は、社会背景から近代スポーツおよび現代スポーツの特徴と課題を抽出する。最後の5回は、運動・スポーツが人々の健康や体力に及ぼす影響について明らかにし、現状の課題について探究することを課題とする。					
授業計画(詳細)					
回	授業テーマとその内容				
1 阿部	[テーマ] スポーツ科学とその科学としての基底 [内容] ①科学とは ②科学という営み ③科学とその体系 ④科学とその存在意義と規範 -protoreptikos logos- ⑤科学の発展の鍵	9 丸山	[テーマ] 現代スポーツとその課題(2) [内容] 現代スポーツの特徴を、スポーツの膨張現象、近代スポーツの崩壊、多様なポストモダン・スポーツとして捉え、その背景を含め概説する。		
2 阿部	[テーマ] スポーツ科学の構造 [内容] ①スポーツ科学の成立 ②スポーツ科学の専門科学としての成立要件 ③スポーツ科学とその専門科学としての発展に向けて	10 丸山	[テーマ] 現代スポーツとその課題(3) [内容] 今日、喫緊の課題となっている「総合型地域スポーツクラブ」に関し、その特徴を解説するとともに、その登場の背景について「近代性のゆらぎ」現象から分析する。		
3 阿部	[テーマ] スポーツ科学における人文科学研究とその役割 [内容] ①人文科学とは何であるのか ②人文科学の役割 ③スポーツ科学における人文科学 ④スポーツ科学における人文科学研究の役割—その「アルキメデスの点」—	11 鈴木	[テーマ] 運動・休養・栄養とコンディショニング [内容] 超回復とコンディショニングの関係について運動・休養・栄養の側面から、最新の研究成果を基に解説する。さらに、受講者自身のコンディショニング法について運動・休養・栄養の側面から発表してもらい、それぞれの課題に対して討議する。		
4 阿部	[テーマ] スポーツとその概念 [内容] ①身体運動文化とスポーツ ②スポーツの輪郭 ③「スポーツとは何か」という問いへの接近 ④スポーツ概念の構成	12 鈴木	[テーマ] 持久力と健康・体力 [内容] 持久力が健康・体力に及ぼす影響について、最新の研究成果を基に解説する。さらに、受講者自身の持久力と健康・体力の関係について発表してもらい、それぞれの課題に対して討議する。		
5 阿部	[テーマ] 現代スポーツとスポーツ・ヒューマニズム [内容] ①スポーツ、とりわけ競技スポーツの現代的様相 ②競技スポーツの現代的特徴とそのファウスト的熱望 ③競技スポーツの部分的肥大 ④スポーツ・ヒューマニズムとスポーツ科学	13 鈴木	[テーマ] 筋力・パワーと健康・体力 [内容] 筋力・パワーが健康・体力に及ぼす影響について、最新の研究成果を基に解説する。さらに、受講者自身の筋力・パワーと健康・体力の関係について発表してもらい、それぞれの課題に対して討議する。		
6 丸山	[テーマ] 近代スポーツの成立とスポーツ観(1) [内容] トマス・アーノルドのパブリックスクール改革を中心に、如何にして今日のグローバル化した近代スポーツが誕生したかを概説する。	14 鈴木	[テーマ] 神経系と健康・体力 [内容] 神経系が健康・体力に及ぼす影響について、最新の研究成果を基に解説する。さらに、受講者自身の神経系と健康・体力の関係について発表してもらい、それぞれの課題に対して討議する。		
7 丸山	[テーマ] 近代スポーツの成立とスポーツ観(2) [内容] 「アスレティズム」、すなわち集団スポーツを人格陶冶の有効な手段として重視する近代スポーツ規範が如何に成立したかを、19世紀イギリスの社会背景から概説する。	15 鈴木	[テーマ] 発育・発達と健康・体力 [内容] 発育・発達が健康・体力に及ぼす影響について、最新の研究成果を基に解説する。さらに、受講者自身の発育・発達と健康・体力の関係について発表してもらい、それぞれの課題に対して討議する。		
8 丸山	[テーマ] 現代スポーツとその課題(1) [内容] オリンピックをIOCによるスポーツ界の統括と捉え、その課題や、さらに政治・経済的な問題点について指摘する。	16	[試験または課題] [方法]		
授業外学習の指示等					
阿部担当授業→ご自分の専門領域や研究課題の意義について、まず一度は根本的に問い直してみてください。 丸山担当授業→近代産業社会、および高度経済成長後の成熟社会とは何かを調べておくこと。 鈴木担当授業→各種体力要素と健康・体力の関係について調べておくこと。					
成績評価方法(方針)					
ポートフォリオおよび出席等を総合的に評価する。その際、人文、社会、自然の各5回の授業ごとに評価し、3回の評価の平均点を、この授業の評価とする。					
成績評価方法(詳細)					履修上の注意(受講に当たって学生に望むこと)
到達目標	認知的領域	情意的領域	技能表現的領域	評価割合 (%)	
定期試験(期末試験)					
小テスト・授業内レポート					
授業外のレポート					
ポートフォリオ	◎	○	◎	80	
出席		○		20	
その他					
関連科目	スポーツ科学特講				
教科書		参考書	朝比奈他編著『スポーツの科学的原理』大修館書店		
連絡先	丸山:E棟2階、OH月曜16:00~17:30/鈴木:A棟402、OH金曜10:30~11:50/阿部:A棟411、OH水曜11:50~14:10				